

# 保健師だより

## がん検診を受けましょう

日本人が生涯でがんにかかる割合は2人に1人とされています。治療技術の進歩により、早期の発見で、がんを治すことができる可能性が高くなっていますが、がんにかかっても初期の段階ではほとんど自覚症状がありません。

5月下旬に、対象者のいる世帯に「小郡市健康診査のご案内」を送付します。命を守るために、定期的にごがん検診を受けましょう。(関連記事8ページ)



がんはじわじわと成長するので、一度検診を受けて異常が見つからなくても、定期的に受診が必要です。

### がんにかかることが多い部位

|    | 1位 | 2位  | 3位 |
|----|----|-----|----|
| 男性 | 胃  | 前立腺 | 大腸 |
| 女性 | 乳房 | 大腸  | 胃  |

(国立がん研究センターより)

### 「がん検診」のすごいところをご紹介します！

#### ●胃がん検診(40歳以上)

検査方法：バリウム検査、胃カメラ検査

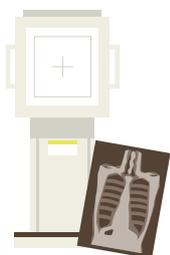
※胃カメラ検査は、50歳以上で偶数年数の人  
がんのある人を正しく診断  
できる精度は80%程度です。  
また、良性の潰瘍やポリープ  
も発見できるので、がんでな  
くとも早めの治療がしやすい  
というメリットがあります。



#### ●肺がん検診(40歳以上)

検査方法：胸のレントゲン

発症の原因1位はたばこです。  
たばこを吸う人は、吸わない人  
と比べて4.5倍かかりやすいと言  
われています。胸のレントゲン  
検査は、主に気管支の先端にで  
きるがんの発見に適しています。



#### ●大腸がん検診(40歳以上)

検査方法：検便

厚生労働省が行った研究によ  
ると、検診を受けることで死亡率が  
70%も減少するという結果が出て  
います。



#### ●前立腺がん検診(50歳以上の男性)

検査方法：採血

患者数は65歳以上で増加します。老化ととも  
に発生するがんの代表で、進行は  
ゆっくりしていますが、進行する  
と骨や肺に転移しやすいので注意  
が必要です。血液検査でわかるた  
め体への負担も少なく早期発見に  
つながります。



#### ●乳がん検診

(40歳以上で令和元年度未受診の女性)

検査方法：マンモグラフィ

マンモグラフィは、医師の触診  
では発見できないごく小さなしこ  
りなども映しだすことができるの  
で、初期の乳がんの発見につな  
がります。



#### ●子宮頸がん検診

(20歳以上で令和元年度未受診の女性)

検査方法：子宮頸部の細胞診

がんになる前の正常でない細  
胞も発見でき、早期治療につな  
がります。身体への負担も少な  
くてすみます。



### あすてらす健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。お気軽にお越しください。☎72-6682  
毎週月～金曜 午前9時～11時/午後1時～4時(あすてらす休館日を除きます)

●問合せ先 健康課健康推進係☎72-6666